自主学習会

近世史読書会
（毎月第１水曜　13 時 30 分～）
今回は日本の近世史を通史として捉え直そうと、岩波新書「シリーズ日本近世史」に取り組みます。９月から①「戦国乱世から太平の世へ」を読み始め、以下③「天下泰平の時代」⑤「幕末から維新へ」と進む予定です。会員のレポートをもとに全員で自由闊達に議論し合います。

近現代史読書会
（毎月第３火曜　13 時 30 分～）
今年の１月より講談社学術文庫の日本の歴史をテキストに採用し、現在、戦前の昭和の時代を学習しています。毎回、20 数名の論客が日頃の学習成果を発表していますが、自説あり・珍説あり・新説ありの楽しい読書会です。

旅と街道学習会
（毎月第４水曜　13 時 30 分～）
参勤交代や物資の輸送、信仰や物見遊山の旅等、近世には多くの街道が賑わいました。当会はこれら古くからある房総や近郊の街道を選び、街道の歴史や役割、地理、民俗等広く社会・経済について図書館や現地を訪ね調査・発表しあいます。現在、成田街道・多古道・久留里道・甲州街道を対象に多くの仲間と楽しく旅しています。

古文書学習会
（毎月第４金曜　13 時 30 分～）
古文書を解読し、その時代背景を考え内容を発表しています。今年１月より「福富家文書」を学習中です。大森銀山（幕府直轄地）の支配下にあった石見国福光下村の庄屋福富家の歴史を綴った地方文書です。今までの武家文書と違い、願口上書、手紙文等色々な文書が入りまじり、手強いですが会員で知恵を絞りながら学習しています。

歴博友の会入会のご案内
―友の会会員の特典―

- ☑ 国立歴史民俗博物館及びくらしの植物苑に無料で入館（入苑）できます。
- ☑友の会が主催する見学会、講演会、講座等各種のイベントに随時参加できます。
- ☑歴博や友の会の情報を満載した友の会ニュース（隔月刊）が送付されます。
- ☑普通会員には歴博編集の歴史系総合誌「歴博」（隔月刊）が無料で送付されます。
- ☑ 普通会員には入会時および更新時に、「歴博招待券」が３枚送付されます。

会員の種類	年会費
新規普通会員	＊8,000 円
準会員	3,000 円
家族会員（2 人分）	5,000 円

＊2 年目以降（継続普通会員）は年会費 7,000 円です。

問い合わせ：表記の一般財団法人　歴史民俗博物館振興会「友の会」係までお問い合わせください。

友の会ホームページでも詳細をご案内しています（検索画面から“歴博友の会”で検索できます）

国立歴史民俗博物館
友の会

（2015.10 発行）

一般財団法人　歴史民俗博物館振興会
〒285-0017　千葉県佐倉市城内町 117
国立歴史民俗博物館内
電話　０４３－４８６－８０１１
FAX　０４３－４８６－８００８
http://www.rekishin.or.jp
E-Mail：tomonokai@rekishin.or.jp

自主学習会

友の会会員による自主学習会です。友の会会員ならどなたでも参加できます。興味のある学習会に参加しませんか。

日本の民俗を訪ねる
（毎月第２水曜　13 時 30 分～）
民俗とは、生活の中から生まれ伝えられてきた文化です（歴博第４室入口ボードより）。かつての庶民の生き方に、未来を学ぶをモットーに車座を組むような気楽さでみんな楽しくやっています。ぜひ一度見学においでください。

日本の原始古代を考える
（毎月第２木曜　13 時 30 分～）
東アジアの中の日本の原始古代史を主体的に学習し、毎月の例会でその成果を自発的に発表、さらに質疑応答を通じて会員相互の知識と親睦を深めます。見学会・博物館活動・友の会事業への参加が楽しくなります。ぜひご入会ください。

古代の東国探訪学習会
（毎月第3木曜　13 時 30 分～）
2015 年の３月の例会 100 回を期して、これまでの古代、東国の枠に縛られず自由に考古・歴史等の学習結果・自説等を持ち寄って、発表・討論。サロン的雰囲気で友人作り・史跡探訪・懇親会などを実施しています。

総合展示物学習会
（毎月第４木曜　13 時 30 分～）
歴史好きな私たちにとって展示室内は歴史ロマンの詰まった宝庫です。展示物の関連資料を読み解きながら情報交換をし、日本の歴史（生活史）を学習しています。そして学習したことを展示室で確認し、知り得たことは共有している楽しい学習会です。